



前関白冬經之家司と
竊之申す一修

心身与宝蓮

口花信の法に紅事

自天て為難哉凡毒

思ふ 自天何様か

と事 自天何様か

物言時付歩行と

自天何様か 物言

歩行と又自天何様か

様か何事と

と候てお付直理と

又幕殿、官原と

多進付又幕殿と

和以、進山様と

て然と水口と又かし

幕殿、官原と

と幕殿、官原と

官原付、幕殿と



口ふ上磁かケナカラ
トシ一磁ト上磁ノ
かつら一磁ト上磁ノ
カケナシ一磁ト上磁ノ
石表ト日身磁成事
ケケ信作め

元禄八し
世リナシ

一孝我之鑑し時家
去年より去年トお見え
氏姓物ノ系及ら中
出らん中より
け上白高僧ハ
ノ白龍ノ記
年ハリ之口

為乳表
元禄年